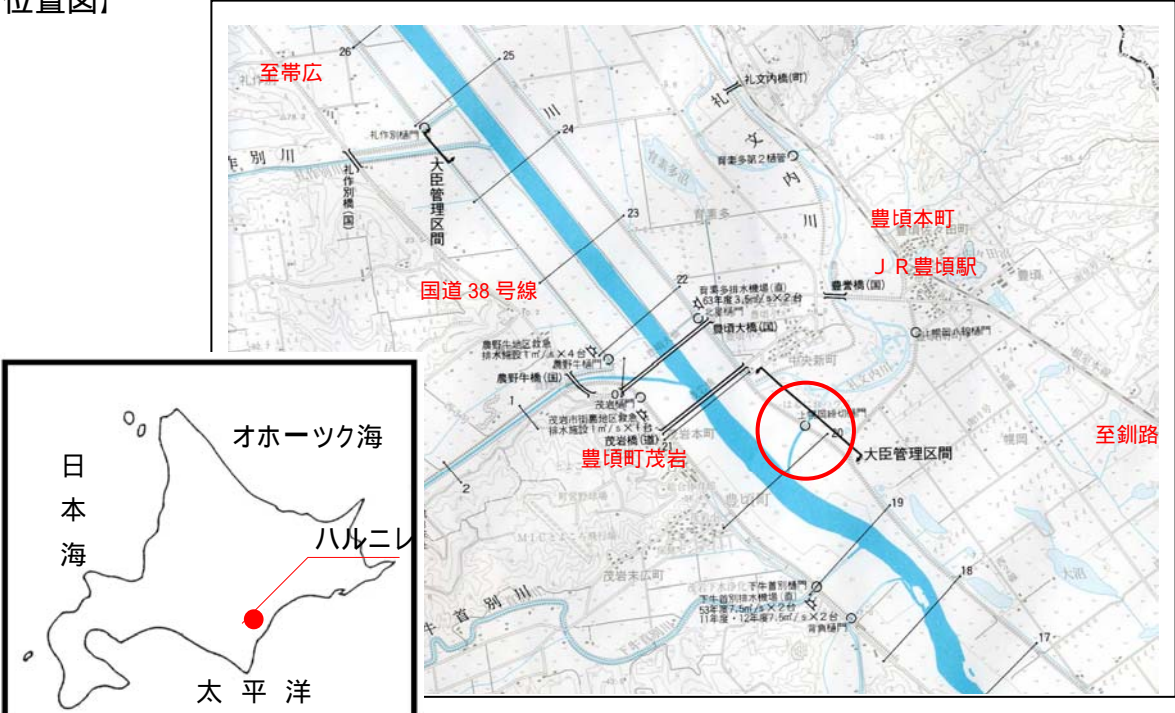


観光社会資本の事例

テーマ	四季様々な姿の十勝川河川敷地「ハルニレの木」
【施設の状況写真】	
	
<p>十勝川の広大な河川敷で、四季折々の素晴らしい表情をもつ「ハルニレの木」。樹齢約140年、左右いっばいに大きく枝を伸ばした美しい姿は、テレビや雑誌でも幾度と無くとりあげられ、毎年多くの観光客が訪れています。</p>	
【施設の利用写真】	
	
<p>堤防に設けられた大きなスペース(第1種側帯)を利用し、ハルニレの木を訪れる人への休憩スペースと施設を設置。</p>	<p>ハルニレの木の下でコンサートが開催されたこともあります。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>豊頃町は「ハルニレのまち」として観光パンフレットなどでPRしており、町のイメージキャラクターのモデルや町文化財にも指定しています。ハルニレの木の入り口(堤防)にある「ハルニレハウス」は写真パネルを展示しているほか、休憩施設を備えています。 堤防の広々としたスペースと併せて雄大な十勝川として利用されています。</p>	

テーマ	四季様々な姿の十勝川河川敷地「ハルニレの木」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 十勝川築堤改修工事</p> <p>所在地 北海道中川郡豊頃町幌岡</p> <p>事業名</p> <p>事業主体 北海道開発局</p> <p>事業期間 平成3年度～平成4年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>治水効果</p> <p>かつて蛇行河川であった十勝川は多くの洪水氾濫を起こしてきたが、十勝川治水事業での河道掘削と築堤工事で洪水被害の軽減がされてきました。</p> <p>堤防が作られた場所は、河川の氾濫原であった旧川跡の地盤の悪い箇所であるため、他の堤防と同程度の安定を図るため、堤防の断面を大きく(第1種側帯)してきました。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 豊頃町 http://www.hokkai.or.jp/toyokoro/</p>	